

2025年度 東京都立大学大学院

人文科学研究科 入学試験

(2月入試)

教室名（分野名）	社会福祉学教室
課程	博士 後期課程
試験区分	☒ 一般学生 ☐ 外国人特別学生（留学生）
試験科目名	英語
出題の意図	問1、問2に共通して、社会福祉学に関連する専門性の高い英文を読解し訳す、あるいは要約する力を見ることを通じて、英語力、専門知識、文章表現など、博士論文執筆に必要な能力の有無を確認するという狙いで作成した。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

2025 年度 東京都立大学大学院 人文科学研究科 社会福祉学分野
博士後期課程 入試問題 英語

問 1 以下の英文を日本語に訳しなさい。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載
することができません。出典を参考にする
か、東京都立大学南大沢キャンパス人文社
会学部教務係の窓口で閲覧してください。

(出典) Daniel Edmiston (2020) *Welfare, Inequality and Social Citizenship: Deprivation and Affluence in Austerity Britain*, Policy Press.

問 2 以下は社会政策に関する英語論文の序論である。これを読んだ上で、日本における任意の社会福祉政策を例に挙げ、それがこの論文で対比されている health policy と social security policy のどちらの状況に近いのか、この論文の議論を踏まえながら 10 行以内で論じなさい。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載
することができません。出典を参考にする
か、東京都立大学南大沢キャンパス人文社
会学部教務係の窓口で閲覧してください。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載
することができません。出典を参考にする
か、東京都立大学南大沢キャンパス人文社
会学部教務係の窓口で閲覧してください。

出典 : Speed E & Reeves A., 2025, Why is Lived Experience Absent from Social
Security Policymaking? *Journal of Social Policy* 54(1): 22-37.
doi:10.1017/S0047279423000028